

# 県立八頭高等学校その他室等照明設備LED化改修工事

## 図面リスト

図面番号	図面名称	SCALE
E-01	表紙・図面リスト	—
E-02	電気設備工事特記仕様書(1)	—
E-03	電気設備工事特記仕様書(2)	—
E-04	付近見取図・配置図	—
E-05	【第1教室棟】電灯設備 改修後 照明器具参考姿図・凡例	—
E-06	【第1教室棟】電灯設備 改修後 1階・2階平面図	S=1/150
E-07	【第1教室棟】電灯設備 撤去 照明器具参考姿図・凡例	—
E-08	【第1教室棟】電灯設備 撤去 1階・2階平面図	S=1/150

鳥取県  
令和7年度  
J2501031  
東部建築住宅  
事務所

有限会社 福田設備設計

〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士  
1級建築士 第376077号 福田洋之  
担当者  
建築設備士 第25E2-7034KP号 井上 誠

CHECK  
井上  
DRAW  
藤田

県立八頭高等学校その他室等照明設備LED化改修工事  
表紙・図面リスト

SCALE

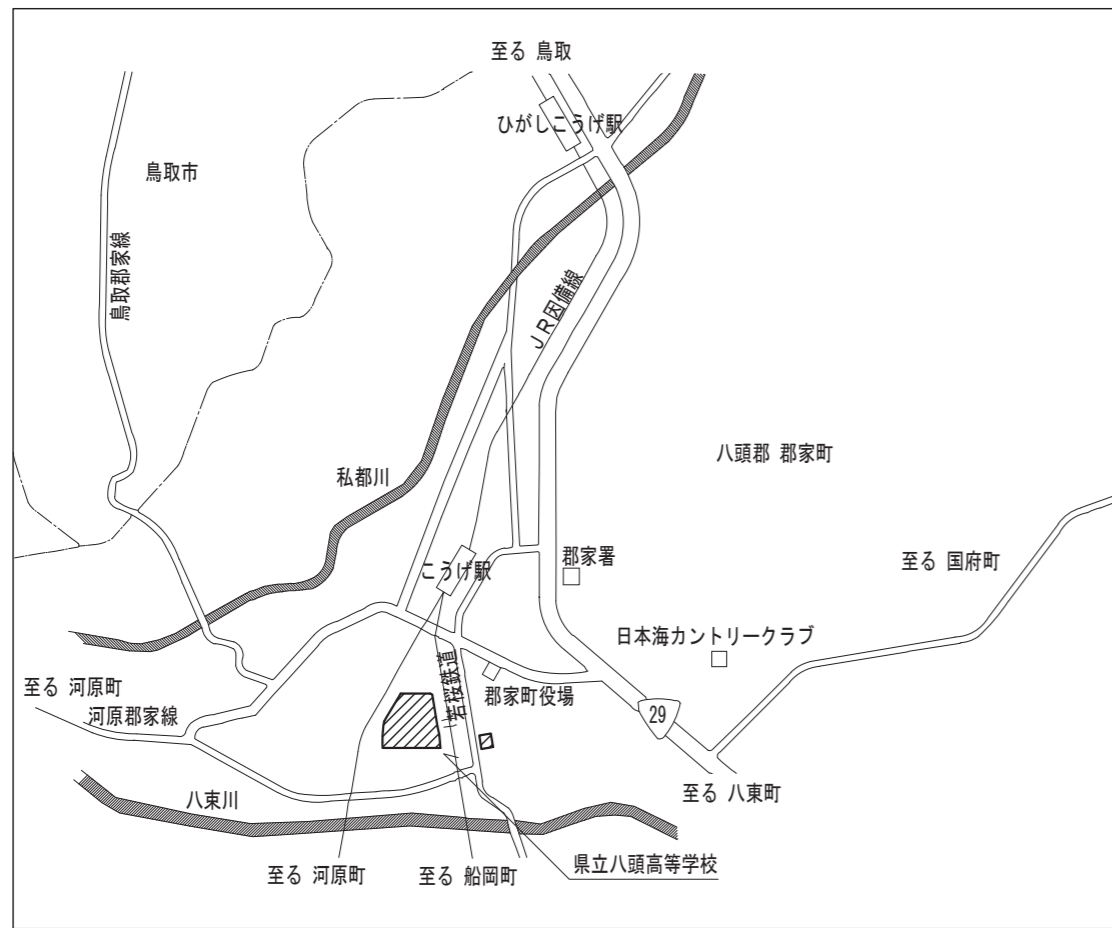
—

No  
E-01

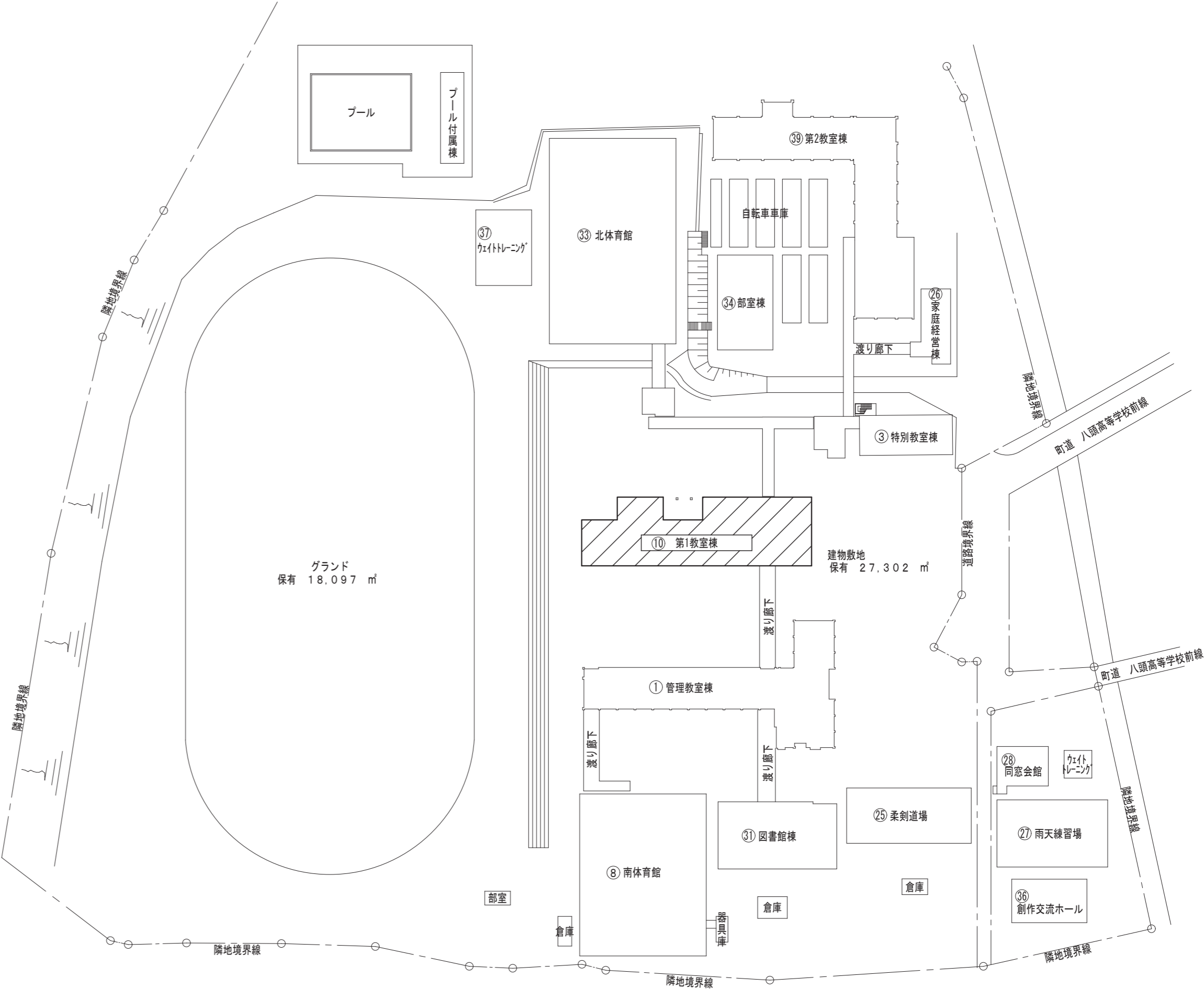
DATE



一般共通事項	⑬工事用仮設物	構内につくることが※できる ●できない	一般共通事項	⑩補修など	工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。	10	1増幅器	形式(●卓上形 ●ラック形) 定格出力( W) 性能(●H形 ●L形)	
	16土工事	埋め戻し土 ※根切土中の良質土 ●山砂の類( ) ●真砂土( )		31はつり	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。		11増幅器	1音声誘導装置	検出方式(●磁気方式 ●無線方式 ●画像認識方式)
	17電線類	建設発生土の処理 ●構外に搬出し適切に処理 ●構内敷きならし ●構内の指示する場所に堆積 本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。 EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。 盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。 ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。 屋外露出配管(厚銅電線管)で塗装を行わない場合は、溶融垂鉛めつき仕上げ[めつき付重量 300g/m以上]とする。		32はつり工事における非破壊検査	探査方法 ※電磁誘導式 ●放射線透過検査 ●		12増幅器	1自動火災報知設備	受信機(●型級 回線(番積型) ●複合形 ●単独形)
	18電線本数・管路等	EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。 盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。 ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。 屋外露出配管(厚銅電線管)で塗装を行わない場合は、溶融垂鉛めつき仕上げ[めつき付重量 300g/m以上]とする。		33あと施工アンカー	1) 施工後確認試験 ※行わない ●行う 試験方法 引張試験機による引張試験 確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上 試験箇所数 1施工単位に対し1本以上 対象機器 ●配電盤 ●発電装置 ●直流電源装置 ●太陽光発電装置		13増幅器	2自動閉鎖設備	●防火戸用(※ラッチ式 ●電磁式) ●防煙ダンパー用(※電動復帰 ●手動復帰) ●防火シャッター用(※別途工事 ●本工事)
	19屋外露出配管の仕上げ	屋外露出配管(厚銅電線管)で塗装を行わない場合は、溶融垂鉛めつき仕上げ[めつき付重量 300g/m以上]とする。		34室内空气中の化学物質の濃度測定	実地する。 工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 (保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。)		14増幅器	3ガス漏れ火災警報設備	検知器(●天井取付形 ●壁取付形)
	20露出配管の塗装(付属品含む)	塗装する部分 ●屋上 ●屋側 ●屋外 ●廊下 ●機械室 ●居室( ) ●		35火災保険等	※対象工事		15増幅器	1施工方法	埋設深さ ※GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ●GL-600以上(●車路 ●高圧配線 ●幹線 ●)
	21波付硬質合成樹脂管(FEP)	波付硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。		36鳥取県公共事業環境配慮指針	※対象工事		16増幅器	2地中箱	蓋の記号表示は鋳型流込み(鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。
	22フラッシュプレート	●金属製(ステンレス、新金属も含む) ●樹脂製		37建築物省エネ法	※対象工事		17増幅器	3高圧負荷開閉器	●閉鎖形(●軽耐塩形 ●重耐塩形) ●地絡継電器付(※方向性 ●無方向性) ●避雷器内蔵 ※別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。
	23カバープレートの表示	シール等を貼付し、用途を表示する。		①照明器具	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※昼白色 ●温白色 ●電球色)		18増幅器	4高圧ケーブルの端末部	高圧ケーブルの高端部にシースの縮み対策(熱伸縮テープによるシースずれ止め対策等)を行う。
	24ブルボックスの塗装	ステンレス製ブルボックスの塗装 ※無(素地仕上) ●有(指定色仕上)		②一般照明の照度測定	測定結果を監督職員に提出する。(測定箇所等は、監督職員の指示による。)		19増幅器	5高圧ケーブルの屋外端末処理	●一般形 ●耐塩形
25耐震施工	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。 1) 機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器重量[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度	3 非常用照明の照度測定	※設置した各部屋2箇所以上 ●	20増幅器	6標識シート	●高圧 ●低圧			
		4 照明制御の照度測定等	照明測定時期 100%点灯時(※夜間 ●昼間) 調光制御点灯時(※夜間 ●昼間)	21増幅器	7照明用ポール	照明用ポールには配線用遮断器(トリップ機能なし)又はカットアウトスイッチ(素通しヒューズ)を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。			
		1 機器の据付け及び取付け		22増幅器	14構内通信線路	1施工方法	埋設深さ ※GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ●GL-600以上(● ● ●)		
		設計用標準水平震度		23増幅器	2地中箱	蓋の記号表示は鋳型流込み(鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。			
		設置場所	●特定の施設 ●一般の施設	24増幅器	3標識シート	●データ回線 ●電話 ●CATV ●			
		機器種別	重要機器 一般機器 重要機器 一般機器	25増幅器	1調査仕様	図面に記載されていない事項は、すべて(一社)日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領(地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。			
		上層階	2.0	26増幅器	2テレビ電波受信障害調査時期	※事前 ●中間 ※事後			
		屋上及び塔屋	1.5 1.0	27増幅器	3受信する受信波及び地点数	中継局 波: 地点			
		中間階	1.5	28増幅器	4報告書提出部数	中継局 波: 地点 ※事前 3部 ●中間 部 ※事後 3部			
		水槽類	1.0 0.6	29増幅器	1機器取付高	機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。			
		機器	0.6 0.4	30増幅器	電力共通	表			
		防振支持の機器	1.0	31増幅器	電	示			
		水槽類	1.5	32増幅器	電	誘導			
		地下及び1階	1.0 0.6	33増幅器	灯	支			
		重要機器	●配電盤 ●非常用発電装置 ●交換装置 ●直流電源装置 ●UPS装置	34増幅器	動	振			
		●火災報知受信機 ●中央監視制御装置 ●通信総合盤 ●		35増幅器	力	知			
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。		36増幅器	構内	テ			
		3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センターを参考にする。		37増幅器	内	レ			
		接地種の材料は次による。		38増幅器	交	ビ			
		接地の種類	記号	39増幅器	換	同			
		●共同接地	E <sub>A</sub> E <sub>D</sub>	40増幅器	設	受			
		●共同接地	E <sub>A</sub> E <sub>C</sub> E <sub>D</sub>	41増幅器	備	信			
		●A種	E <sub>A</sub>	42増幅器	8	火			
		●B種	E <sub>B</sub>	43増幅器	情	災			
		●C種	E <sub>C</sub>	44増幅器	報	報			
		●D種	E <sub>D</sub>	45増幅器	知	知			
		●高圧避雷器	E <sub>LH</sub>	46増幅器	ガ	ス			
		●交換機用	E <sub>t</sub>	47増幅器	ス	検			
		●通信用	E <sub>At</sub>	48増幅器	検	知			
		●通信用	E <sub>Dt</sub> 及びE <sub>Da</sub>	49増幅器	知				
		●電話引込口の保安器用	E <sub>Lt</sub>	50増幅器					
		●測定用	E <sub>o</sub>	51増幅器					
		(連結の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)		52増幅器					
		(E <sub>o</sub> , E <sub>o</sub> , E <sub>o</sub> , E <sub>o</sub> , E <sub>o</sub> の場合、EBはD=10 L=1000 または W=30 L=900以上とする)		53増幅器					
		(その他単独の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)		54増幅器					
		ステンレス製または鋼材に溶融垂鉛メッキを施したものとする。		55増幅器					
		外気面に面する壁、スラブ等打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。		56増幅器					
		公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。		57増幅器					
		処理を行うアスベスト含有建材の仕様等		58増幅器					
		建材の内容・箇所	仕様等	59増幅器					
				60増幅器					
				61増幅器					
				62増幅器					
				63増幅器					
				64増幅器					
				65増幅器					
				66増幅器					
				67増幅器					
				68増幅器					
				69増幅器					
				70増幅器					
				71増幅器					
				72増幅器					
				73増幅器					
				74増幅器					
				75増幅器					
				76増幅器					
				77増幅器					
				78増幅器					
				79増幅器					
				80増幅器					
				81増幅器					
				82増幅器					
				83増幅器					
				84増幅器					
				85増幅器					
				86増幅器					
				87増幅器					
				88増幅器					
				89増幅器					
				90増幅器					
				91増幅器					
				92増幅器					
				93増幅器					
				94増幅器					
				95増幅器					
				96増幅器					
				97増幅器					
				98増幅器					
				99増幅器					
				100増幅器					
				101増幅器					
				102増幅器					
				103増幅器					
				104増幅器					
				105増幅器					
				106増幅器					
				107増幅器					
				108増幅器					
				109増幅器					
				110増幅器					
				111増幅器					
				112増幅器					
				113増幅器					
				114増幅器					
				115増幅器					
				116増幅器					
				117増幅器					
				118増幅器					
				119増幅器					
				120増幅器					
				121増幅器					
				122増幅器					
				123増幅器					
				124増幅器					
				125増幅器					
				126増幅器					
				127増幅器					
				128増幅器					
				129増幅器					
				130増幅器					
				131増幅器					
				132増幅器					
				133増幅器					
				134増幅器					
				135増幅器					
				136増幅器					
				137増幅器					
				138増幅器					
				139増幅器					
				140増幅器					
				141増幅器					
				142増幅器					
				143増幅器					
				144増幅器					
				145増幅器					
				146増幅器					
				147増幅器					
				148増幅器					
				149増幅器					
				150増幅器					
				151増幅器					
				152増幅器					
				153増幅器					
				154増幅器					
				155増幅器					
				156増幅器					
				157増幅器					
				158増幅器					
				159増幅器					
				160増幅器					
				161増幅器					
				162増幅器					
				163増幅器					
				164増幅器					
				165増幅器					
				166増幅器					
				167増幅器					
				168増幅器					
				169増幅器					
				170増幅器					
				171増幅器					
				172増幅器					
				173増幅器					
				174増幅器					
				175増幅器					
				176増幅器					
				177増幅器					
				178増幅器					
				179増幅器					
				180増幅器					
				181増幅器					
				182増幅器					
				183増幅器					
				184増幅器					
				185増幅器					
				186増幅器					
				187増幅器					
				188増幅器					
				189増幅器					
				190増幅器					
				191増幅器					
				192増幅器					
				193増幅器					
				194増幅器					
				195増幅器					
				196増幅器					
				197増幅器					
				198増幅器					
				199増幅器					
				200増幅器					
				201増幅器					
				202増幅器					
				203増幅器					
				204増幅器					
				205増幅器					
				206増幅器					
				207増幅器					



付近見取図



配置図

：工事対象建物

【工事概要】

照明器具の更新

特記事項

1. 既存設備を十分調査の上、施工のこと。
2. 施工中の動線計画及び、仮設計画については、監督員と調整の上行うこと。
3. 改修内容は次のとおりとする。
  - ・特記無き既設照明器具を撤去後、全て新設LED照明器具に更新を行うこと。
  - ・既設吊ボルトのうち状態に問題のないものについては、再利用してもよい。
  - ・再利用できない又は、既設照明器具が、スラブ等構造体に支持されていない場合は、後施工アンカーにてスラブ等構造体に支持すること。（3kg未満の器具は除く）
  - ・構造体からの支持が困難な場合は、天井下地からの支持とし、落下防止措置を講ずること。
  - ・特記無き配管・配線・ボックス類は、既設利用とする。
  - ・作業に伴う足場工事・養生・清掃片付け等は、本工事とする。（養生は監督員と調整し行うこと）
  - ・施設を使用しながらの工事のため、施設運営に支障がないように日程等を、施設管理者及び、監督員と調整の上、作業を行うこと。
  - ・施工前、施工後に照度測定を実施すること。なお、測定箇所は、監督員の指示による。
  - ・天井材の加工が必要な場合は、アスベスト含有の有無を確認し、調査結果の掲示及び、報告を行うこと。
  - ・撤去後の照明器具は、安定器にPCBを含んでいないか確認を行うこと。
  - ・安定器にPCBが含まれている場合は、監督員に報告の上、指示に従うこと。



有限会社 福田設備設計

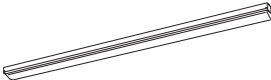
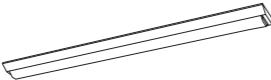
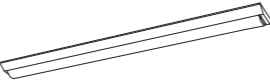





〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 1級建築士 第376077号 福田洋之  
 担当者 井上 誠  
 建築設備士 第25E2-7034KP号

CHECK 井上  
 DRAW 藤田

県立八頭高等学校その他室等照明設備LED化改修工事  
 付近見取図・配置図

SCALE - No E-04  
 DATE

A	LSS1-4-48	B	LSS9-4-48	C	LSS9-4-30
 <p>参考品番：パナソニック XFX450NENLE9</p>		 <p>参考品番：パナソニック XFX450AENLE9</p>		 <p>参考品番：パナソニック XFX430AENLE9</p>	
D	LSS10-4-65	E	LSS10-4-48	F	LSS10-4-37
 <p>参考品番：パナソニック XFX460DENLE9</p>		 <p>参考品番：パナソニック XFX450DENLE9</p>		 <p>参考品番：パナソニック XFX440DENLE9</p>	
G	LSS10-2-30	H	LSS13-4-45		
 <p>参考品番：パナソニック XFX230DENLE9</p>		 <p>参考品番：パナソニック XFX450BSNLE9</p>			

照明器具参考姿図

凡例（改修後）

記号	名称	摘要	
□○	照明器具	天井付	照明器具リスト参照 新設
□○	照明器具	天井付	照明器具リスト参照 新設
□○	照明器具	天井付	照明器具リスト参照 新設
□○	照明器具	壁付	照明器具リスト参照 新設
□○	照明器具		LED化済
□○	照明器具		LED化済
□○	照明器具		LED化済
□○	照明器具		LED化済
□○	照明器具		LED化済
□○	照明器具		LED化済
□○	照明器具		LED化済
□○	照明器具		LED化済
□○	人感センサ		既設のまま
□○	人感センサ		既設のまま

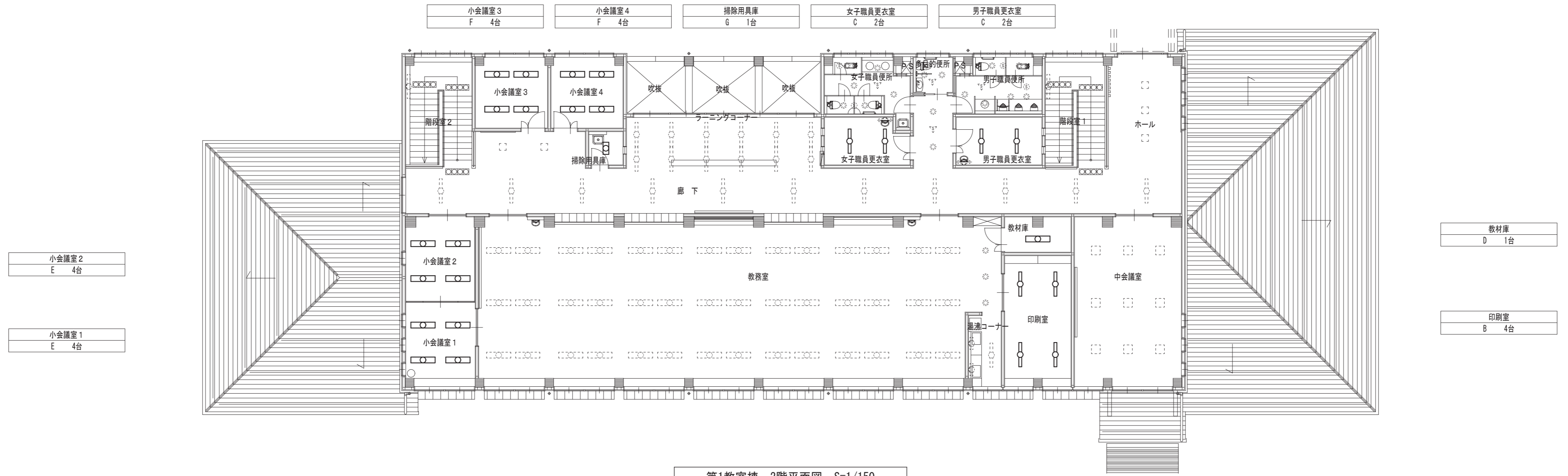
鳥取県  
令和7年度  
J2501031  
東部建築住宅  
事務所

有限会社 福田設備設計  
〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

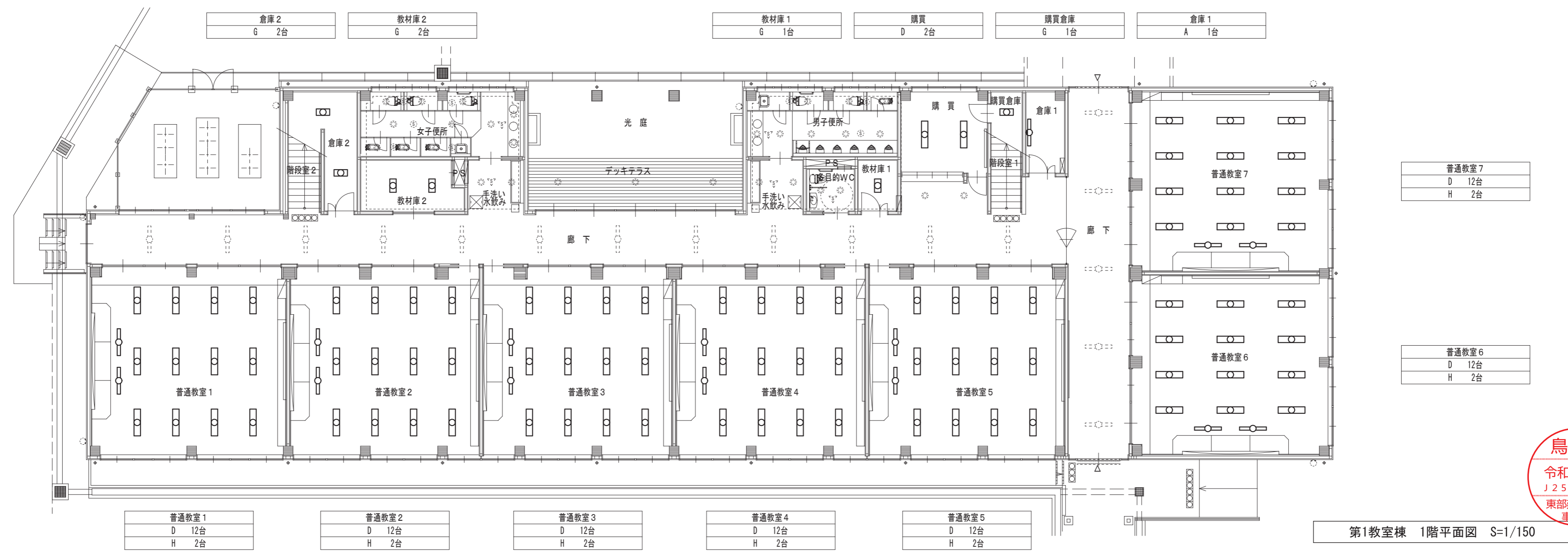
管理建築士 福田洋之  
1級建築士 第376077号  
担当者 井上 誠  
建築設備士 第25E2-7034KP号

CHECK 井上  
DRAW 藤田  
県立八頭高等学校その他室等照明設備LED化改修工事  
【第1教室棟】電灯設備 改修後 照明器具参考姿図・凡例

SCALE -  
No E-05  
DATE



第1教室棟 2階平面図 S=1/150



第1教室棟 1階平面図 S=1/150



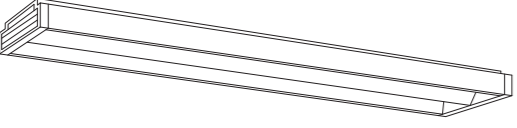
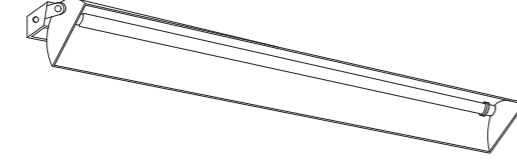
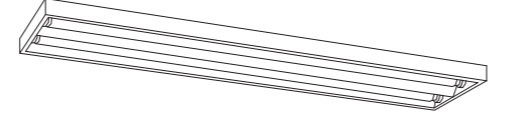
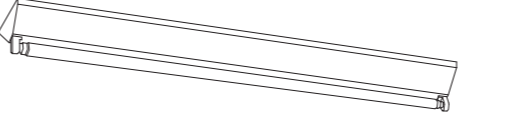
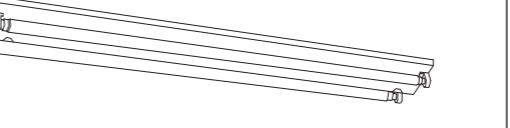
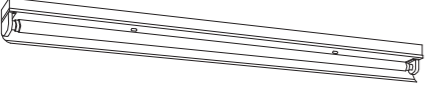
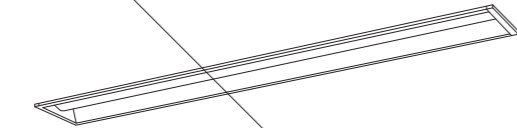
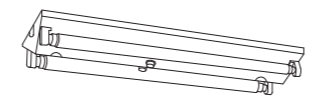
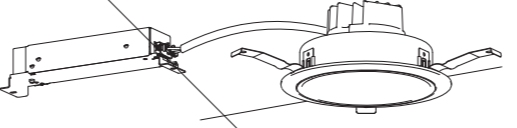


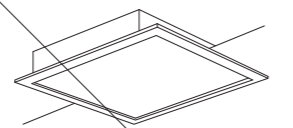
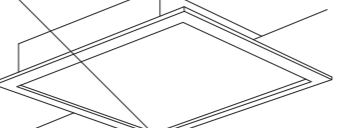



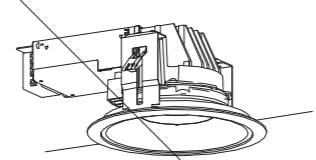


有限会社 福田設備設計  
〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 福田洋之  
1級建築士 第376077号  
担当者 井上 誠  
建築設備士 第25E2-7034KP号

CHECK 井上  
DRAW 藤田

県立八頭高等学校その他室等照明設備LED化改修工事  
【第1教室棟】電灯設備 改修後 1階・2階平面図

SCALE 1/150  
No E-06  
DATE

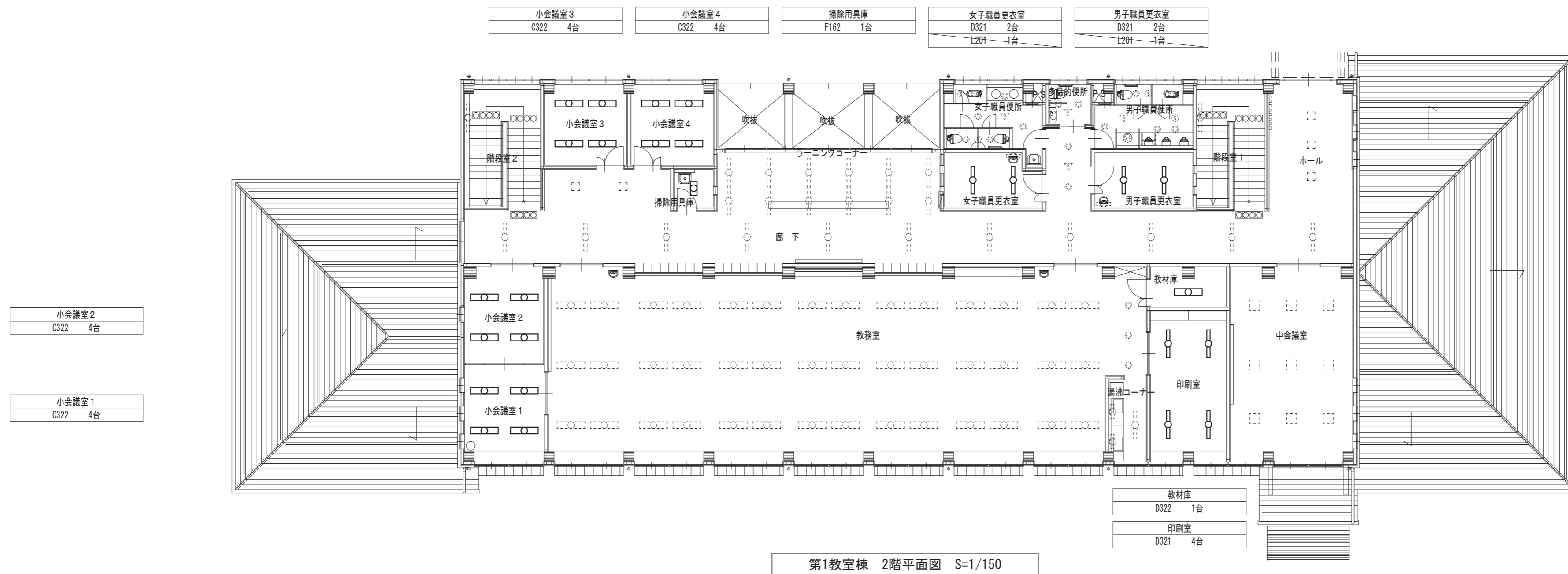
A322	FSS7-322PK9	B321	FSR12-321PK9	G322	FSS6-322PJ9	D321	FSS9-321PK9	D322	FSS9-322PK9
 <p>FHF32W×2 直付下面開放 (環境配慮型) 電圧100~242V 初期照度補正機能付 エコ電線 (塩化ビニルおよびハロゲン、鉛を含まない) 反射板: 鋼板 (高反射白色粉体塗装) 遮光角: 横方向24度 パナソニック FSA42591APF9</p>		 <p>FHF32W×1 黒板灯 (環境配慮型) 電圧100~242V 初期照度補正機能付 エコ電線 (塩化ビニルおよびハロゲン、鉛を含まない) 本体: 鋼板 (高反射白色粉体塗装) 反射板: アルミ (鏡面つや消し仕上) パナソニック FSA41518FPF9</p>		 <p>FHF32W×2 直付下面開放 (環境配慮型) 電圧100~242V 初期照度補正機能付 エコ電線 (塩化ビニルおよびハロゲン、鉛を含まない) 本体: 鋼板 (高反射白色粉体塗装) 反射板: 鋼板 (高反射白色粉体塗装) パナソニック FSA42500APJ9</p>		 <p>FHF32W×1 富士型 (環境配慮型) ツイストラック採用 電圧100~242V 初期照度補正機能付 エコ電線 (塩化ビニルおよびハロゲン、鉛を含まない) 本体: 亜鉛鋼板 (クロムレス) 反射板: 鋼板 (高反射白色粉体塗装) パナソニック FSA41038FPF9</p>		 <p>FHF32W×2 富士型 (環境配慮型) ツイストラック採用 電圧100~242V 初期照度補正機能付 エコ電線 (塩化ビニルおよびハロゲン、鉛を含まない) 本体: 亜鉛鋼板 (クロムレス) 反射板: 鋼板 (高反射白色粉体塗装) パナソニック FSA42001FPF9</p>	
D311	FBS5-321PF9	E402	LED埋込40形 W150 4000lmタイプ	F162	FSS9-162PH9	G241	LEDダウンライト 100形	H321	LEDダウンライト 150形
 <p>FHF32W×1 片反射付 (環境配慮型) 電圧100~242V 初期照度補正機能付 エコ電線 (塩化ビニルおよびハロゲン、鉛を含まない) 本体: 鋼板 (高反射白色粉体塗装) 反射板: 鋼板 (高反射白色粉体塗装) パナソニック FSA41231FPF9</p>		 <p>ボルトフリー (100~242V) 器具光束3880lm 本体: 亜鉛鋼板 反射板: 鋼板 (白色粉体塗装) ライトカバー (カバー): ポリカーボネート (乳白) 光源寿命: 40000時間 昼白色 (5000K) Ra83 パナソニック 埋込XLK440PENLE9 (NNLK41715&gt;NNL4400ENLE9)</p>		 <p>FHF16W×2 富士型 (環境配慮型) ツイストラック採用 電圧100~242V エコ電線 (塩化ビニルおよびハロゲン、鉛を含まない) 出力固定型、給電部品ユニット交換可能 本体: 亜鉛鋼板 (クロムレス) 反射板: 鋼板 (高反射白色粉体塗装) パナソニック FSA22000JPH9</p>		 <p>FHT24形器具相当 LED&lt;ワンコア (ひと粒) タイプ&gt; 一般タイプ、光源遮光角15度、拡散タイプ 器具光束850lm、消費電力7.9W 電圧100~242V、5000K、Ra85 40000時間 (光束維持率95%) 反射板: アルミ (スノーホワイトつや消し仕上) 枠: 鋼板 (スノーホワイトつや消し仕上) 埋込穴φ150、埋込高79 パナソニック ダウンライトXNDN1068WNL9E</p>		 <p>FHT32形器具相当 LED&lt;ワンコア (ひと粒) タイプ&gt; 一般タイプ、光源遮光角15度、拡散タイプ 器具光束1325lm、消費電力13.3W 電圧100~242V、5000K、Ra85 40000時間 (光束維持率95%) 反射板: アルミ (スノーホワイトつや消し仕上) 枠: 鋼板 (スノーホワイトつや消し仕上) 埋込穴φ150、埋込高79 パナソニック ダウンライトXNDN1668WNL9E</p>	
I421	LEDダウンライト 200形	J234	LEDスクエアベースライト	K324	LEDスクエアベースライト	L201	LEDブラケット	M321	LDL40W×1 ウォールライト
 <p>FHT42形器具相当 LED&lt;ワンコア (ひと粒) タイプ&gt; 一般タイプ、光源遮光角15度、拡散タイプ 器具光束1695lm、消費電力16.4W 電圧100~242V、5000K、Ra85 40000時間 (光束維持率95%) 反射板: アルミ (スノーホワイトつや消し仕上) 枠: 鋼板 (スノーホワイトつや消し仕上) 埋込穴φ150、埋込高79 パナソニック ダウンライトXNDN2068WNL9E</p>		 <p>FHP23形×4灯相当 電圧: 100~240V、Ra: 85 消費電力: 45W パネル: アクリル (乳白) パネル: アクリル (乳白) 昼白色 (5000K)、器具光束4100lm 光源寿命: 90000時間以上 埋込型、乳白パネル 埋込穴寸法φ350タイプ 片山電機 KT350-45J4T3-AMW</p>		 <p>FHP32形×4灯相当 電圧: 100~240V、Ra: 85 消費電力: 84W パネル: アクリル (乳白) パネル: アクリル (乳白) 昼白色 (5000K)、器具光束7300lm 光源寿命: 90000時間以上 埋込型、乳白パネル 埋込穴寸法φ450タイプ 片山電機 KT450-84Q6T3-AMW</p>		 <p>20形直管蛍光灯相当 スイッチ付、拡散タイプ Ra85、昼白色 (5000K) 器具光束865lm、消費電力15W、電圧100V カバー: プラスチック (乳白) コンセント付 光源寿命40000時間 (光束維持率70%) W=565 H=48 出する130 パナソニック LGB82093LE1</p>		 <p>ボルトフリー (100~242V) 器具光束2650lm 壁面 (横向き) 取付専用 本体: 亜鉛鋼板 (クロムフリー) カバー: アクリル 直管形LEDランプ素材: ガラス 光源寿命40000時間、省エネ出力初期照度補正型 パナソニック NNF41825LE9</p>	
N321	LED直付40形 3200lmタイプ	Q421	LRS1RP-1400LM-LE9	P7	LEDエクステリアライト	あ202	LDL20W×2 富士型		
 <p>ボルトフリー (100~242V) 器具光束3200lm 本体: 鋼板 (白色粉体塗装) ライトカバー (カバー): ポリカーボネート (乳白) 光源寿命: 40000時間 昼白色 (5000K) Ra83、器具光束80 電源装置はライト側へ内蔵 パナソニック 直付XLK430ENLE9 (NNLK41509&gt;NNL4300ENLE9)</p>		 <p>LEDダウンライト 150形 FHT42形器具相当 LED&lt;ワンコア (ひと粒) タイプ&gt; 軒下用 (防雨型)、5000K、Ra70、拡散タイプ 器具光束1480lm、消費電力16.5W、電圧100~242V 反射板: 鋼板 (クールホワイトつや消し仕上) 枠: 鋼板 (クールホワイトつや消し仕上) パネル: ポリカーボネート (透明つや消し) 埋込穴φ150、埋込高100 パナソニック NNN73025KLE9</p>		 <p>IL60W相当 電球色、Ra85、器具光束346lm、100V カバー: アクリル (乳白) 枠: プラスチック (オフブラック) 本体: アルミダイカスト (オフブラック) 拡散タイプ、防雨型、ネジ方式 光源寿命40000時間 (光束維持率70%) パナソニック LGW80125LE1</p>		 <p>ボルトフリー (100~242V) 器具光束1840lm 防湿・防雨型 本体: ステンレス 反射板: ステンレス (クリア塗装) 光源寿命40000時間 LEDランプ: LDL20S・N/11/12 直管形LEDランプ素材: ガラス、光束維持率: 95% パナソニック NNF722020LE9</p>			

照明器具参考姿図

凡例 (改修前)

記号	名称	摘要	
	照明器具	天井付	照明器具リスト参照 撤去処分
	照明器具	天井付	照明器具リスト参照 撤去処分
	照明器具	天井付	照明器具リスト参照 撤去処分
	照明器具	壁付	照明器具リスト参照 撤去処分
	照明器具		LED化済
	照明器具		LED化済
	照明器具		LED化済
	照明器具		LED化済
	照明器具		LED化済
	照明器具		LED化済
	人感センサ		既設のまま
	人感センサ		既設のまま





第1教室棟 2階平面図 S=1/150



第1教室棟 1階平面図 S=1/150



有限会社 福田設備設計  
〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 1級建築士 第376077号 福田 洋之  
担当者 井上 誠  
建築設備士 第25E2-7034KP号

CHECK 井上  
DRAW 藤田

県立八頭高等学校その他室等照明設備LED化改修工事  
【第1教室棟】電灯設備 撤去 1階・2階平面図

SCALE 1/150  
No E-08  
DATE